

打出のごづち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階

TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715 Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問

3月5日の県議会一般質問において、発言の機会をいただきました。今回は、子育て世代の皆さまや地域のみなさま、働く皆さまからお伺いした声を、議会で提言する質問をめざし、発言させていただきました。

人口減少対策について

Q1 少子化対策の推進に向けた、「いしかわ子ども総合条例」の改正に対する知事の思いを聞く。

A. 人口減少問題は、一朝一夕にして解決しない大きなテーマであり、あらゆる施策を総動員して取り組んでいく。

Q2 自然減対策の重要性への認識と、新年度の事業実施に向けた意気込みはどうか。

A. 自然減対策の根幹をなす少子化対策をより一層強力に進めていくことが重要であり、当面の目標である出生率1.8の達成に向け、結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援をさらに充実させていく。

乳幼児の出生及び発達のサポートについて

Q1 産科医療確保策の一つとして、県立中央病院における産婦人科専攻医の確保が必要だと考えるが、どのように取り組みを強化していくのか。

A. 令和2年度に県立中央病院で二人の専攻医を確保する見込み。県内の医療機関と連携を図り、魅力ある専門研修プログラムを作成し、確保に取り組む。

Q2 母子健康手帳は満期産を前提に作られていることから、早産等によって小さく生まれた赤ちゃんの成長を確認することは難しい。保護者の不安を少しでも解消するため、低出生体重児(1500g未満)向けの手帳を作成してはどうか。

A. 周産期母子医療センターに臨床心理士を派遣し、出産後の母親への個別相談にきめ細かく対応しているほか、退院後も市町の保健師が家庭訪問等により個別相談に応じている。今後とも、医療機関や市町等と連携し支援に努めていく。



本会議場で質問に立つ

青少年の健全な育成について

Q1 未就学児や小学生への交通安全教育が必要と考えるがどうか。また、大学と連携して、子どもの歩行中の事故を減らすための対策を進めてはどうか。

A. 交通ルールを成長の初期段階で覚えてもらうことは非常に重要なことから、保育所や幼稚園等に出向き、幼児交通安全教室を開催し、交通マナーをわかりやすく指導している。大学等との連携については、必要性を検討していく。

Q2 ゲーム障害やスマートフォン等への依存症について、積極的に啓発すべきと考えるがどうか。また、適正利用に関する指導・啓発の具体的な内容と、来年度に向けた課題や工夫について聞く。

A. WHO（世界保健機関）において、ゲーム障害が新たな国際疾病として認定されたことを受け、パンフレット等の内容を充実させた。教育委員会や警察本部とも連携し、青少年がスマートフォンを適正に利用できる環境整備に取り組む。



答弁する谷本知事

Q3 市町で、放課後児童クラブの支援員等の処遇改善のための事業の活用が進んでいない要因と対応方針について聞く。

A. 公営の放課後児童クラブにおいて、児童館など他の職員との処遇均衡の観点から改善が進んでいない。市町に対し、事業内容の丁寧な説明や他市町での状況など必要な情報提供に努め、積極的な活用を働きかけたい。

Q4 まめだ・大桑・湊簡易グラウンドの暫定利用の終了時期と終了後の活用方法について伺う。また、今後もグラウンドとして活用するのであれば、施設の充実を検討してはどうか。

A. まめだ簡易グラウンドについては、継続的な使用が認められている。簡易な整備と管理により低廉な料金で提供しているものであり、施設の充実については、利用状況や利用者からの要望を踏まえ、慎重に検討していく。

Q5 新県立図書館への交通アクセス向上のため、バス運行会社やコミュニティバスを運行する金沢市と協議を進めてはどうか。

A. 金沢外環状道路山側幹線に連結するアクセス道路や金沢美術工芸大学の整備状況などを踏まえながら協議を進めていく。

Q6 食品ロスを削減するため、持ち帰り希望者に対応する食べきり協力店を増やすことが有効と考えるがどうか。

A. 今年度、「美味しいいしかわ食べきり協力店登録制度」を創設し、85店舗で取り組んでおり、持ち帰りができることを表示された啓発ポスター等を活用いただきたい。

若者の自立に向けた支援について

Q1 働く際に必要な知識をまとめた、「はたらく若者サポートブック」を作成しているが、県立学校の授業等でのキャリア教育に活用してはどうか。

A. 県内全ての高校生に配布し、社会人としてのマナー等を指導する際に活用しており、今後とも効果的に活用できるよう機会を捉えて指導していく。

地域でお困りのこと、
お気軽にご連絡ください！
打出 喜代文

打出きよふみ事務所

金沢市小立野 3-23-27 近藤ハイツ 1階
TEL：076-260-1655 / FAX：076-209-6715
Eメール：info@uchidekiyofumi.com

Q2 石川県ものづくり人材奨学金返還支援制度の利用状況を聞く。また、ものづくり企業・中小企業の支援充実のため、理系大学院修了生から学部修了生へ対象を拡充してはどうか。

A. 実績は年々増加しており、14名の県内企業への就職につながった。対象を拡大した場合、財政負担が大きくなることから、大学院修了者としている。

Q3 非正規雇用労働者の正社員化を支援する国の助成金制度について、中小企業へのコンサルタント派遣など具体的な活用支援が重要と考えるがどうか。

A. 企業からの正規雇用労働者への転換に関する個別相談等の中でアドバイスを行っており、こうした取り組みを通じて助成金の周知・活用に向けた支援を行っていく。

新型コロナウイルス感染症対策について

Q1 臨時休校にあたり、家庭以外に居場所が必要な子どもたちには、行政が居場所を確保する必要があると考えるがどうか。

A. 放課後児童クラブの事業主体である市町や放課後等デイサービスを運営する事業所に対して、地域の実情に応じて午前中から開所するなど、子どもの居場所の確保に努めるよう要請している。教育委員会や市町と連携し、しっかりと対応していく。

県議会一般質問の録画を
こちらで視聴することが可能です。
ぜひご覧ください。



お住まいの地域で 困ったことはございませんか？

[解決事例]

危険防止のため歩行者信号の時間を延長

兼六園下交差点の兼六園側・裁判所側間の歩行者信号が「青信号の時間が短く、小さな子ども連れの方やご高齢の方、体に障害がある方の横断の際、危険ではないか」との連絡をいただきました。

現地を確認したところ、歩行者信号の青信号が15秒程度と極めて短かったことから、警察に声を届け、現場の交通量を確認いただいた上で20秒程度に延長していただきました。

